

令和5年7月総評

西躰 かずよし

風鈴の内臓部分に満ちる闇

桜望子 山形県

『内臓部分』と書くことで、風鈴は生き物になる。闇がその部分に満ちていく様子は、汚れてしまう自身の心象を投影しているかのようである。

午後の
往診
向日葵迷路に
園児が消える

大橋 弘典 群馬県

往診のさなかに消える園児を見ること。それはふだん忘れていた死を思い出すのに充分かもしれない。

くちびるの
ままだに
あなたを歌うとき
すべての夏がらいめい だった

さいう 愛知県

こんなふうには詠われるあなたは、息苦しいくらいで。そして、そんなにも美しい夏はあと何回やってくるのだろうか。

翼と糞ってぱっと見ちがいが分か

らないそういうものかもしれない
おれらは

白野 新潟県

『かもしれない』という記述は、『おれらは』どこまでいっても翼と糞という両義性をもったものとしてしか存在できないということを表しているかのようで、想像以上に切ない。

切ないといえば、おなじ作者の作品に「まだ当分尽きない米を研ぐ真昼／おれにも人生ってあるのかな」というものもある。

あいさつが弱くてあたし川に来る

松下 誠一 東京都

あいさつが何処かしら暴力的な感じがするのは、相手にもそれを求めるように感じるからだろう。『あいさつが弱くて』という一節に、あいさつもできない程の疲れを感じるのは、川を見に行くことを慰めとする私がそこで語られるからだろう。

トルストイ閉じる君の手青い夏

ビスコ 愛知県

君はトルストイのどんな本を読んでいるのだろうか。閉じる手と夏の日が響き合う。青い夏は遠くの日々を思い起こさせる。ここに描かれる君への視線は、恋とっていいものかもしれない。

半分もミスしてもうた模試やけど
振り返ったら満天の星

小林紅石 埼玉県

振り返ると満天の星というのは、ありふれた内容だけれども、使用される関西弁が、読者を登場人物の心情へと引き寄せる。ありふれたものを、敢えてありふれたものとして描ききることによって説得力のある作品になっている。

半夏生まばたきだって水の音

奎いう子 佐賀県

夏の朝トースト裏のやわらかさ

奎いう子 佐賀県

この書き手の作品の特徴は、世界とじかにつながるアンテナによってとらえられる清々しい情景だろう。日々のなかに存在するトーストのやわらかさや、半夏生のまばたきをとらえる鋭敏なまなざしは、特筆すべきものだと思う。また日々に寄り添うようなかたちで作品が提出されているのにも好感が持てる。

どうせ、
そうゆうことにするのなら
ほつれ目をください
わたしにも

こはくいろ 大阪府

執着は恋愛にも似ていて、だからどうしても、そうゆうことにしてほしくないのだろう。でもそうゆうことにするのなら、いっそ、その『ほつれ目』を自身にも分けてほしいと思うのも自然なことかもしれない。たしかに痛みを共有することでしか分からないものがある。

生きる訳が見当たらないから
今日はカレー

つけ麺 北海道

たとえば、お腹がすいたら、これまで分かっていた生きる理由も分からなくなるかもしれない。生きる理由が分かってなくてもお腹がいっぱいになれば、幸せを感じるかもしれない。こころはどうしようもなく体にしばられるけれども、それがポップなかたちで表現されている。

多嚢胞性卵巣症候群ですと
名前が付けられて
私のからだはまた遠ざかる

手塚桃伊 東京都

病気も名づけられてはじめて病気となるのだろうけれども、自身もそのようなもの（病者）として名づけられたのだと思う。

そして、自身のからだと思っていた「私」は、じつは、からだの一部でしかないと感じたとき、からだは私から、どこまで離れていくのだろうか。

雨の夜は銀河からバスが出ている

azusa 京都府

この作品の登場人物は、銀河から出るバスのことを、とおくの地球で考えているのかもしれない。そして、雨の夜は、いつも以上のやさしさを読み手へと届けるのかもしれない。

初めてキミが僕を名前で呼んで
歩行者信号は赤くなった

羊夏生 東京都

名前で呼ばれることで世界が変わったような気がするの、自身が輪郭をもつようになるからだと思う。キミに名前で呼ばれたことは、信号の色を変えてしまうくらい新鮮な体験だったに違いない。

あさやけが消え去るまでの十五分
トマトはずっと赤く揺れてる

うたた 岡山県

ゆれるのはさよならの証かもしれない。

あさやけを惜しんで全身でゆれているのかもしれない。

さらら さっ さくら
ぽ・ぽぽっ たんっぽぽ
 balanッ。バララン。バラ

かわなご まい 埼玉県

さくらや、たんぽぽ、バラになるまでに、とおりすぎなければならない音。

『さささ、さっ』

『ぽ・ぽぽっ、たんっぽぽ』

『balanッ。バララン。』

飛び跳ねることば。

楽しい。